

[594]九州大学大型計算機センターニュース :
No. 594

<https://doi.org/10.15017/6618290>

出版情報：九州大学大型計算機センターニュース. 594, pp.1-, 2000. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：



【MSPシステム(kyu-msp)運用停止のお知らせ】

これまでセンターニュース、広報、ホームページでお知らせしておりましたように、[2000年3月27日\(月\)午前9時](#)をもって汎用コンピュータM-1800/20UのMSPシステム(ホスト名: kyu-msp, IPアドレス: 133.5.9.2) の運用を**停止**し、OSをUNIXに一本化します。このセンターニュースでは、2000年4月以降のMSPデータ、ソフトウェアの移行等についてお知らせします。

[kyu-mspをお使いの方は必ずお読みください。](#) また、研究室などで回覧していただけると幸いです。

●データセットの移行

- 利用者のMSPデータセットは、運用停止後、4月以降、汎用UNIXサーバkyu-ccのホームディレクトリ(ログイン直後のディレクトリ)下に新規に作成される`MSP_BACK'という名前のディレクトリに順次移行されます。既に同じ名前のディレクトリが存在する場合は適当な名前に変更されます。
- 区分編成データセットは、データセット名のディレクトリの下にメンバ名をファイル名として別々に保存されます。
- データセットが固定長レコード形式で、PFDのRENUMサブコマンドを保存前に用いた場合は、転送後のファイルの73～80桁目に行番号がつきます。行番号はkyu-ccの「cut」コマンドで取り除くことができます。手順は<http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/library/MSP/ftp.html>を参照してください。
- オブジェクトモジュール、ロードモジュールの互換性はありません。kyu-ccまたは kyu-vppでの再作成をお願いします。運用停止前にMT, CMTに保存するか消去することをお勧めします。
- FORTRANの書式なしWRITE文で出力したバイナリデータ、SASデータセットは、MSP側であらかじめ変換しておかない限り互換性はありません。必要なデータは事前に利用者自身で転送してください。手順は<http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/library/MSP/MSP.html>を参照してください。
- 利用者データのバックアップは当分の間保存されます。詳しくはrequest@cc.kyushu-u.ac.jpまでお問い合わせください。

●ソフトウェア

- FORTRAN, C, PKS, GKS, Graphman, SPSS, SAS, SSL II, NUMPAC, LISPIは,kyu-ccの UNIX版を利用してください。利用方法はセンターホームページから参照することができます。

○FORTRAN

- kyu-mspのソースプログラムは、ファイル入出力に関する記述を除いてそのまま kyu-cc, kyu-vppで翻訳することができます。
- kyu-mspのソースプログラムのOPEN文にファイル名を指定している場合、先頭の課題番号は必要ありません。
たとえば、MSP側の記述

```
OPEN(1,FILE='A79999A.SAMPLE.DATA')
```

をkyu-cc, kyu-vppで

```
OPEN(1,FILE='sample.data')
```

と変更した場合、プログラムを実行するディレクトリにあるファイル「sample. data」が割り当てられます。

- UNIXでは大文字／小文字を区別します。上の例で

```
OPEN(1,FILE='SAMPLE.DATA')
```

と記述すると、sample.data とは別のファイル SAMPLE.DATAが割り当てられます。

- OPEN文で指定されたファイルが存在しない場合は、ファイルが新規に作成されます。あらかじめデータセットを作成しておく必要はありません。
- バッチ処理を行なう場合には、kyu-mspのジョブ制御文の代わりにバッチリクエストと呼ばれるシェルスクリプトを記述します.M-VPP連携ジョブは利用できません。バッチリクエストの記述方法の詳細は
<http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/library/GP7000F/NQS.html>を参照してください。

以下は,ジョブ制御文とバッチリクエストの対応例です。

【ジョブ制御文の例】

```
//A79999A1 JOB CLASS=F (1)

// EXEC FORT,STEP=CLG (2)

//FORT.SYSIN DD DSN=A79999A.MYPROG.FORT,DISP=SHR (2)

//GO.FT03F001 DD DSN=A79999A.INOUT.DATA,DISP=SHR (3)

//GO.SYSIN DD DSN=A79999A.INPUT.DATA,DISP=SHR (4)

//
```

【バッチリクエストの例】

```
# (1)

frt myprog.f (2)

setenv fu03 inout.data (3)

./a.out < input.data (4)
```

1. バッチリクエストの先頭は「#」としてください。
2. frtコマンドによって「myprog.f」を翻訳します。FORTRAN 77 で記述されたプログラムは拡張子を「.f」として
ください。翻訳後、「a.out」という名前の実行可能ファイルが作成されます。
3. DD文によるファイルの割り当てに対応して、setenvを用います。
4. 実行可能ファイル「a.out」を指定して実行します。GO.SYSINに対応するファイルはUNIXのリダイレクション機能
“<”を用いて読み込むことができます。

○SASデータセットは必ず3月27日午前9時までに移行してください！

- kyu-mspのSASソースプログラムは、OSに依存するXステートメントとファイル入出力部分を除き、kyu-ccでもそのまま実行可能です。ただし、SASデータセットは、kyu-msp側で中間ファイルを作成してkyu-ccに転送・復元する必要があります。MSP版SASの運用は3月27日午前9時までです。

4月以降はSASデータセットのバックアップは保存されますが、変換手段がないため、kyu-ccに移行することがで

きなくなります。必ず運用停止前にSASデータセットの移行を完了するか、少なくともMSP側で転送可能なSASデータセットを作成しておくようにしてください。変換・移行方法は

http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/library/SAS/MSP_TO_UNIX/from_MSP.html

を御覧ください。事前にMSPのSASデータセットのリストを指定していただければ、センター側でSASデータセットの変換作業を行ないます。お早めに御連絡ください。

○SPSS

- 数量化理論の利用方法が変更されます。

<http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/library/SPSS/SPSS.html>

を参照してください。

○運用停止となるアプリケーションソフトウェア

- センターニュースでお知らせした通り、以下のアプリケーションソフトウェアの運用を3月末日で停止する予定です。

<<< COBOL, PL/I, PROLOG, REDUCE, EShell/X, BMDP, ANALYST >>>

○プログラムライブラリ開発課題

- 現在、MSP上で動作するプログラムライブラリ開発課題で開発者から継続運用の希望があったものの移植作業を進めています。動作確認が完了したものから適宜公開する予定です。ただし、今後、移植が困難であることが判明したライブラリについては、ソースを公開するなどの措置を取った上で運用を停止する可能性もあります。

○エディタ

- kyu-cc, kyu-vppでは、UNIXの標準エディタであるmule(emacs), viのほかに、PFDに類似したエディタであるjeも利用できます。詳しくは[\[http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/library/je/je.html\]](http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/library/je/je.html)を参照してください。

●データベース

- INSPEC JICST, RAMBIOS, ゲーテ・ファイル, トーマス・マン・ファイル, 昆虫学データベースは新しく公開されるデータベースサーバで引続き利用することができます。

詳しい利用方法および他のデータベースの移行については後日センターニュース, ホームページでお知らせします。

1. 汎用UNIXサーバの無料お試しキャンペーン！！

本センターでは2000年1月から、汎用UNIXサーバ FUJITSU GP7000F モデル 900 の計算サービスを行っていますが、今回、この汎用UNIXサーバをできるだけ多くの方に利用していただくため、下記要領で汎用UNIXサーバの無料お試しキャンペーンを行います。

●対象システム

汎用UNIXサーバ（ホスト名：kyu-cc, IPアドレス： 133.5.9.1）

●無料キャンペーン期間

平成12年4月3日（月）～ 4月30日（日）

●参加方法

1) 利用登録済みのセンター利用者

申し込みは不要です。期間中kyu-ccの演算負担金が無料となります。
また、無料ディレクトリ（表2参照）に作成したファイルの負担金も無料です。
期間終了後の実行中のジョブは課金対象となります。
不要なバッチ/TSSジョブはキャンセル/終了してください。

2) センターに利用登録をされていない方

テスト課題の申請を行ってください。（表1参照）
テスト課題で登録されたユーザのホームディレクトリは"/home/tmp/ログイン名"となります。

無料で利用できる汎用UNIXサーバはCPU 64台（OS：Solaris7）、主記憶容量 64GB（共有メモリ）です。昨年12月まで運用していた汎用コンピュータM-1800/20Uと比較して、いくつかのFortranプログラムで約2～5倍の性能を示し、また、記憶容量も飛躍的に増大しています。大規模計算に有用ですので、これを機会にぜひご利用ください。

なお、アプリケーション、ジョブの制限値、利用方法等についてはセンター広報 Vol.32, No.4およびVol.33, No.1, また、センターホームページ<http://ri2t.kyushu-u.ac.jp>に掲載しています。センター広報が必要な方はご連絡ください。

表1. テスト課題の申請について

受付期間	平成12年3月15日（水）～4月14日（金） ホームページから申し込んでください。利用承認書を送付します。 ホームページ： http://janus.cc.kyushu-u.ac.jp/campaign/ 申し込み数が200名に達したら受付を打ち切らせていただきます。
参加資格	本センターの利用有資格者（大学・高専等の教官、大学院生など）に限ります。 利用資格の詳細はホームページを参照してください。
利用制限	テスト課題ではkyu-cc以外のシステムは利用できません。
期間終了後の	実行中のジョブはキャンセルします。

ジョブ	
質問窓口	E-mailアドレス： request@cc.kyushu-u.ac.jp 質問の際は、所属、氏名、連絡先電話を必ず記載してください。

表2. キャンペーン期間中の無料ファイルについて

登録課題の場合	キャンペーン期間中、無料で使用できるディレクトリ “/home/tmp/ログイン名” を用意しています。このディレクトリの下に作成されたファイルは課金されません。 ただし、期間終了以降、無料ディレクトリは参照のみ可能となります。 また、5月31日（水）には無料ディレクトリのすべてのファイルを消去します。必要なファイルはホームディレクトリ等へ移行しておいてください。 なお、kyu-cc 及び kyu-vpp のホームディレクトリのファイルは通常通り課金されます。
テスト課題の場合	作成するファイルはすべて課金されませんが、期間終了後、ファイルを消去します。 継続してセンターを利用し、作成したファイルの保存を希望される方は上記の質問窓口、またはセンター共同利用掛（ダイヤルイン092-642-2305）へ「計算機利用申請」を行ってください。申請の際はCPU定額利用制度もご利用ください。

システム運用室（ダイヤルイン 092-642-2306）

2. 平成11年度末・12年度始めの計算サービスの一時停止について

年度末・年度始めの処理作業のため、下記システムの計算サービスを一時停止します。停止時に実行が終わっていないジョブはキャンセルしますのでご了承ください。

なお、3月29日(水)は定期保守を行わず連続して運用します。

システム名	停止期間	センター内作業
汎用コンピュータ kyu-msp	3月27日(月) 9:00 ***運用停止***	*出力待ちジョブの強制出力作業 *システムバックアップ作業 *ファイル移行作業
汎用UNIXサーバ kyu-cc スーパーコンピュータ kyu-vpp	3月30日(木) 9:00 から 4月3日(月) 9:00	*システムバックアップ作業 *登録申請作業 *システム変更作業
端末サーバ wisdom 学情アクセスポイント	4月1日(土) 9:00 から 17:00	*システムバックアップ作業 *システム変更作業

*オープン機器室および画像機器室は3月30日(木)から4月2日(日)まで閉室します。

*情報サロンは通常どおり利用できます。

(システム運用掛 ダイヤルイン 092-642-2307)

3. 計算サービス時間の変更のお知らせ

平成12年4月移行の計算サービス時間を次のとおり変更します。

- 1) 毎月第1, 3日曜日の空調機保守による停止を廃止します。
- 2) センター内利用の終了時刻を通年21時とします。

計算サービス時間

システム利用	サービス時間	各種保守作業による停止時間
汎用UNIXサーバ スーパーコンピュータ	原則通年24時間 ただし、右欄保守作業 の停止時間を除く	◇定期保守 毎週水曜日 5時～12時30分
その他のサーバ (端末サーバ等)	原則通年24時間	

センター内利用	曜日	開始時刻	終了時刻
オープン利用機器	月～火	9:00	21:00
	水	12:30	
	木～金	9:00	

備考

- 毎週水曜日は、計算機システムの保守のため12時30分から計算サービスを開始します。
- 16時45分以降（月～金）と土曜日及び日曜祝日は、無人運転を行っており、システム障害が発生した場合は、約20分後に自動的に計算サービスを再開します。
ただし、30分経過後に再開できない場合は、計算サービスを打切らせていただきます。
- 臨時の停止、運用を行う場合は、その都度センターニュース等でお知らせします。

(システム運用掛 ダイヤルイン 092-642-2307)

4. オープン機器室の移動について

平成12年4月からオープン機器室をセンター2階受付横（現在の情報サロン談話室）に移動します。なお、画像機器室およびプログラム相談室は変更ありません。詳しくはセンターのホームページをご覧ください。

<http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/service/new/sisetu.html>

(システム運用掛 ダイヤルイン 092-642-2307)

5. 利用負担金改定のお知らせ

平成12年4月1日から「基本負担金」およびファイル使用負担金区分の「大容量ディスク占有使用」, 「端末サーバのディスク」の利用負担金を表1のとおり改定します。なお, 「基本負担金」は利用登録月からいただくこととなりますが, 登録により端末接続負担金, 端末サーバの演算負担金および大型カラープリンタが無料で利用できます。改定内容は表2をご参照ください。

表1. 利用負担金表

区分	負担金の算定基準		
基本負担金	利用登録1件につき	月額	500円

演 算 負 担 金	バッチ 処 理	スーパーコンピュータを利用する場合 1 件の演算時間のうち 5 分まで 1 秒（1 秒未満の端数があるときは、 その端数を切り上げる。以下この表に おいて同じ。）につき 3 円 5 分を超え 1 5 分まで 1 秒につき 1 円 1 5 分超 1 秒につき 0.4 円 汎用UNIXサーバを利用する場合 1 件の演算時間のうち 5 分まで 1 秒につき 1 円 5 分を超え 1 5 分まで 1 秒につき 0.5 円 1 5 分超 1 秒につき 0.1 円
	会話型 処 理	スーパーコンピュータを利用する場合 1 秒につき 3 円 汎用UNIXサーバを利用する場合 1 秒につき 1 円
プリンタ 出力負担金		プリンタ用紙 1 頁につき 4 円 高画質カラープリンタ用紙（A4判） 1 頁につき 360 円
フ ァ イ ル 使 用 負 担 金	ディスク	ファイルサーバ 使用期間 1 日当たり 100メガバイトまで 0.5メガバイト（0.5メガバイト 未満の端数があるときは、その端数を 切り上げる。以下この表において同じ。） につき 1 円 100メガバイトを超える部分 50メガバイト（50メガバイト未満 の端数があるときは、その端数を切り 上げる。）につき 10 円 端末サーバ 使用期間 1 日当たり 0.5メガバイトにつき 1 円
	大容量 ディスク 占有使用 （口数限定）	大容量ディスク占有使用 使用期間 1 月当たり 30ギガバイトにつき 20,000 円
	ワークステーション負担金	使用時間 1 分（1 分未満の端数があるときは、 端数を切り上げる。）につき 3 円
データベース 負担金		特定データベースを利用する場合 使用期間 1 年（1 会計年度）当たり 1 種類のみを利用するとき 3,000 円 （1 種類のみを利用し、データベース負担金を既に 支払った者が、2 種類以上利用することとなった場 合の同負担金は 2,000 円を加算するものとする。） 2 種類以上を利用するとき 5,000 円
各区分 共通負担金		各区分に従い算出した利用負担金額の合計額に 100 分の 5 を 乗じて得た額
備考 1 演算負担金バッチ処理の項中スーパーコンピュータを並列プログラ		

ムで利用する場合の負担金については、各演算時間中その最長の演算時間を基にして算出するものとし、スーパーコンピュータを17並列以上のプログラムで利用した場合の負担金の算出基準は、同項に規定する演算時間の区分に従い各々その単価の2倍とする。

2 利用負担金は、利用者の登録番号（利用者番号に支払いコードを加えたもの）別に月ごとに集計する。ただし、データベース負担金については、当該利用を開始した月に集計する。

3 この表において「特定データベース」とは、センターが第3者との有償契約に基づき保有しているデータベースのうちセンターが指定したものをいう。

表2. 改定内容新旧対照表

区 分		旧	新
基本負担金			500円／月
演 算 負 担 金	バッチ処理	スーパーコンピュータ	同左
		3円／秒（5分まで）	
		1円／秒（15分まで）	
		0.4円／秒（15分超過分）	
		汎用UNIXサーバ	同左
		1円／秒（5分まで）	
		0.5円／秒（15分まで）	
		0.1円／秒（15分超過分）	
		汎用コンピュータ	削除
		2円／秒（5分まで）	
		1円／秒（15分まで）	
		0.1円／秒（15分超過分）	
	会話型処理	スーパーコンピュータ	同左
		3円／秒	
		汎用UNIXサーバ	同左
		1円／秒	
		汎用コンピュータ	削除
		4円／秒	
		ライブラリサーバ	削除
		0.5円／秒	
		専用回線又は交換回線利用の場合	削除

入出力負担金	端末接続	0. 5円／分	
	プリンタ	プリンタ用紙	同左
		4円／頁	
		高画質カラープリンタ	同左
3 6 0円／頁（A4判）			
ファイル使用負担金	ディスク	大型カラープリンタ（A0判）	削除
		4, 0 0 0円／頁	
		汎用コンピュータ（M S P）	削除
		1円／0.5MB・日	
ファイル使用負担金	ディスク	ファイルサーバ	同左
		1円／0.5MB・日(100MBまで)	
		1 0円／50MB・日(100MB超過分)	
		端末サーバ	
ファイル使用負担金	マスストレージ	1 円／0.5MB・日	
		500円／100MB・月	削除
		大容量ディスク占有使用	2 0, 0 0 0円／30GB・月
施行年月日		平成1 2年1月5日	平成1 2年4月1日

(システム運用掛 ダイヤルイン 092-642-2307)

6. 大型計算機利用負担金の納入方法の一部変更について

大型計算機を「公・私立学校経費，他省庁経費（文部省外），委任経理金，科学研究費，産学連携等研究費」で利用されている皆さまの利用負担金の納入方法を平成12年度利用分より下記のとおり変更します。

なお，納入手続きは従前どおりです。

- 1. 公・私立学校経費，他省庁経費（文部省外）および委任経理金による利用については，四半期毎（7月，10月，1月，4月）に納入告知書を発行します。
- 2. 科学研究費および産学連携等研究費（九州大学外）による利用については，10月，1月及び2月中旬（最終使用期限後）に納入告知書を発行します。
- 3. 産学連携等研究費（九州大学内）による利用については，10月，1月及び2月中旬（最終使用期限後）に移算手続きを行います。

（会計掛 ダイアルイン 092-642-2304）

7. 継続申請されていないファイルの処置について

平成12年度に継続申請がされていない登録番号下のファイルは，以下のように4月中旬に消去しますのでその旨ご承知おきください。

必要なファイルは，登録番号の期限切れ前までに磁気テープなどにバックアップするか，継続申請する他の登録番号下に移行してください。

◆MSP

マストストレージ（MSD）を含む利用者ファイルは，年度末に汎用UNIXサーバ（kyu-cc）にすべて移行した後，汎用UNIXサーバ上の従来からのファイルと同様に，該当登録番号のディレクトリ下にあるファイルはすべて消去します。

◆汎用UNIXサーバ、スーパーコンピュータ

汎用UNIXサーバ，スーパーコンピュータ，及びワークステーション上のファイルはすべて消去します。
（システム管理掛 ダイアルイン 092-642-2308）

8. MSPの廃止に伴うサービスの廃止について（再掲）

センターニュースNo.590でお知らせしていましたように，平成12年3月27日（月）9時を持って汎用コンピュータFUJITSU M-1800/20UによるMSPの下記サービスは廃止いたします。長い間大変ありがとうございました。

サービス内容	備 考
MSP TSS及びバッチジョブ M-VPP連携 日本語プリンタ 磁気テープ	

カートリッジ型テープ	
マスメタストレージ 利用者ファイル	MSPの運用廃止時に残っている利用者ファイルは、全て汎用UNIXサーバに移行（詳しくはセンターニュースNo.594をご覧ください）
データベース	平成12年4月からデータベースサーバで運用

(システム管理掛 ダイヤルイン 092-642-2308)

9. 汎用UNIXサーバのジョブキューと制限値（再掲）

平成12年3月でのMSP廃止により平成12年4月からは汎用UNIXサーバ（ホスト名：kyu-cc）とスーパーコンピュータ（ホスト名：kyu-vpp）でのサービスとなります。各システムの制限値は下記のとおりです。汎用UNIXサーバではバッチジョブ、TSSジョブとも制限値の範囲内で並列化できますが、CPU時間の制限値は全PEの合計値となります。

汎用UNIXサーバの制限値

バッチジョブ

(*)

適用ジョブ	キュー	CPU時間	メモリサイズ	備考
sc	120時間	4GB	非並列向け	
sc8		8GB	8PEまで使用可	
sc32		32GB	32PEまで使用可	
TSSジョブ		12時間	1GB	12PEまで使用可

*) バッチリクエストの投入時のqsubコマンドで-qオプションを省略するとscキュー に投入されます。

なお，8並列，メモリサイズ8GB，CPU時間50時間のジョブをバッチリクエスト に投入する場合のqsubコマンドの投入例は次のとおりです。

```
kyu-cc% qsub -q sc8 -lT 50:0:0 a.sh
```

スーパーコンピュータの制限値

適用ジョブ	キュー	CPU時間	メモリサイズ		備 考
			省略値	制限値	
バッチジョブ	c	60分	512MB		コンパイル専用
	s	60分	1PE当たり 512MB	1PE当たり 1792MB	非並列
	s8	10分			8PE並列
	p1	1200分			非並列
	p8				8PE並列
	p16				16PE並列
	p32				32PE並列
TSSジョブ		60分	100 MB		ベクトル演算可

(システム管理掛 ダイヤルイン 092-642-2308)

10. 平成11年度計算機利用報告書の提出についてお願い

平素，利用者の皆様方には九州大学大型計算機センターをご利用いただき誠にありがとうございます。
この度，計算機利用報告書の提出をお願いいたしたく存じます。利用の継続，終了を問わず本センター共同利用掛まで

提出下さるようお願いいたします。

既にご提出の方はこの限りではありません。計算機利用報告書が必要な方は、御連絡下さい。

なお、本センターを利用した研究成果、論文等がありましたら、報告書に添付下さるようお願いいたします。

送り先：〒812-8581

福岡市東区箱崎6-10-1

九州大学大型計算機センター 共同利用掛 宛

問い合わせ先：共同利用掛 092-642-2305